

市民のいのち、くらし 教育を守るために

2月議会の最終日、予算に関する討論に登壇しました

さいたま市の予算は、年間1兆1663億円という巨大予算ですが、市民や事業者に寄り添う予算になっていません。物価高騰対策の合計は、88億9000万円、全体のたった0.8%です。日本共産党さいたま市議団は、「学校給食費の無償化」「水道料金の引き下げ」「おでかけ支援制度の創設」などを求め、予算の組み替えを提案しましたが、現時点では、できないとの答弁でした。市民は税金を払っています。「**住民福祉の増進**」が行政の仕事です。

引き続き、**みなさんの声**を大切に、要望していきます。

実現！ 小さいけれど大きな一歩 「平和推進事業」の予算が大幅アップ

平和のための事業費は前年度予算227万円から993万円に。市内の**児童生徒**を、8月6日の**広島平和記念式典に派遣する**予算187万円が増えました。昨年8月6日、池田めぐみも平和記念式典に参加しました。そこで見たのは、全国から招かれた若い学生の姿でした。広島市に確認すると、2024年は148の自治体に参加し、政令市には毎年招待状を送っていることがわかりました。昨年の文教委員会で、「現地で被爆体験を学ぶことでわかることがある！さいたま市からも平和学習派遣を！」と求めたことが、戦後80年の年に、実現します。

戦争の記憶を若い世代に継承していくこと、そして、来年以降も継続し、さいたま市の平和の構築に大きく貢献することを心から願います。

24時間使えるAEDの増設に 2900万円

2年前、池田めぐみが初質問で取り上げた「**24時間使えるAED**」が、市内で増えています。新年度は、あらたにAED65台を設置。屋外設置は40台（24時間使えるAEDは15台）です。浦和区では、10月以降、あいぱれっとや浦和ふれあい館に設置されます。

AED設置ガイドラインが改訂され、現在、市内中学校の正門の他、10区の区役所にも設置されていますが、いざという時に使えるよう「応急手当講習」や「ASUKAモデル」の普及啓発にも努めてほしいと求めました。

あなたの声を届けます

議員になってから、たくさんのご相談をいただきます。
2月議会では、現場や当事者の声をもとに質問しました。



地域の方

浦和区上木崎2丁目地内から高濃度の**PFAS**が検出された問題。地域の水道水は大丈夫？



医療関係者

慢性的な**人手不足**、時間外勤務の偏り、職員の**駐車場不足**を改善してほしい！

市立病院の職員アンケート（自治労連実施）をもとに質問。駐車場は抽選制で外れると他の交通手段に。職員の働く環境を整えることが人材確保につながると提言しました。

給食室に、**炊飯器がない**！自校で炊けば安いのに。献立ソフトも、個人任せは問題！

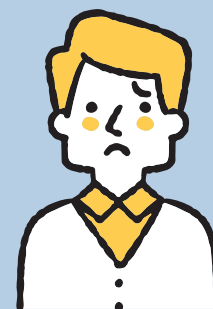
給食室の炊飯器は、旧浦和市は52%の学校にしかありません（旧岩槻市は100%）。設置可能な学校から炊飯器導入を要望しました。また、アレルギー対策などの重要性を指摘し、献立ソフト検討チームを検討するよう求めました。



学校栄養士さん

教室にプロジェクターはあるが、**スクリーンがない**！黒板にうすく投影された文字を見ている生徒がかわいそう。自腹で購入した！

5年間で104億円を投入したGIGAスクール構想。プロジェクターは5年リースですが、スクリーンは契約外。スクリーンも教育委員会が責任をもつべきと要望しました。



学校の先生

みなさんの声を代弁するのが仕事です。地域のお困りごとなどいつでもご相談ください。



日本共産党 さいたま市議会議員

議会報告 2025年2月議会

池田めぐみ



日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤 6-4-4（さいたま市議会内）
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ホームページ
<http://www.jcp-saitama.jp>



2025年度予算は、さいたま市史上2番目に多い1兆1663億円となりました。そのなかで、物価高騰対策のための予算額は約89億円、全体予算の0.8%です。市民が本当に必要としているのは、くらし、福祉、子育て、教育、地域経済、災害対策の充実ですが、一方で大型公共事業はこんなに増えました。私たちが納めた税金の使い方、みなさんはどう思いますか？

こんなに増えた 大規模公共事業

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

大宮駅GCS化構想は、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、まちづくり、駅機能の高度化を三位一体ですすめる構想。いくらかかるのか、いつまでかかるのか分からない、天文学的な大事業。

さいたま市役所新庁舎建設

浦和区からさいたま新都心に移転が決定した、さいたま市役所。当初は220億円の予算だったが、今は**400億円以上**に。さいたま新都心駅からのデッキや、隣に建設される民間企業が利用する建物も予算に含まれており、予算を削減するどころか膨大になっている。

次世代型スポーツ施設（仮）建設

5000人収容のミニアリーナ建設。当初市民に示された予算は52億円だったが、今や**2.5倍の131億円**に。さらに軟弱地盤の改良などのコスト増が予想される。参画意欲のある企業からも「1万人規模でなければ採算は取れない」と指摘されている。

武蔵浦和学園義務教育学校建設

整備基本計画（133億円）・基本設計（183億円）・補正予算で**220億円**。それでも建設事業契約は入札不調。

約245億円分の 予算組み替えを 提案



予算組み替え提案を提出する党市議団

（仮称） 農業及び食の流通・観光産業拠点建設

事業費**232億円**。と畜場と道の駅をあわせた施設はさいたまスーパーアリーナ4つ分。地盤改良や資材高騰で大きく費用は増える見込みだがいまだ不明。道の駅の収益が過大に見込まれており、自然環境破壊の懸念も大きい。

地下鉄7号線延伸事業

事業費**1520億円以上**。市も認める「巨額のプロジェクト」。埼玉高速鉄道浦和美園駅から岩槻駅まで7km。建設の見通しは不明。中間駅のまちづくり（1万人規模）の費用も不明。コミュニティバスやデマンド交通など身近な公共交通こそ優先課題。

浦和駅西口再開発事業・市民会館うらわ

総事業費**709億円**のうち、公的資金は**448億円**。27階建てマンションは、ひと部屋5億円の部屋もあるとのこと。儲かるのは企業ばかり？市民会館うらわの建設費も、**167億円**と巨額に。

予算組み替えで 実現しよう！

- 介護保険料の引き下げ **25億円**
- 給食費（副食費）無償化 **27億6000万円**
- 学校給食費無償化 **56億円**
- 小規模事業者へ支援金を **20億円**

財源はどうするの？

- 各種基金の一部取り崩し **160億円**
- 地下鉄7号線整備基金積立の中止 **7億円**
- 義務教育学校建設の見直し **46億円**
- 大阪・関西万博自治体催事事業 **5101万円**



ほかにもこんなムダな事業が…

人形と盆栽を展示 大阪・関西万博に5日間で5101万円

万博に5日の出展で5101万円の予算を計上。1日約1000万円の予算をかけて、人形と盆栽を展示する予定です。海外パビリオンの出展とりやめが相次ぎ、「184日間の期間を地方自治体の数珠繋ぎ出展で乗り切る」という国からの圧力に屈したかたちです。さらに、「さいたま市の香り」という謎の事業に360万円の予算をつけますが。活用方法も決められていませんでした。たけこし連市議の予算委員会の質疑で、市も「この予算は高いと思う」と正直に答弁しました。

「さいたま市みんなのアプリ」物価高騰対策になったのか？

国からの物価高騰対策補正予算11.8億円を、「さいたま市みんなのアプリ」のポイント還元で全額活用したさいたま市。通常の3%還元を33%還元にするために、この予算を投じました。同キャンペーン期間は4月27日まででしたが、3月2日に前倒しで終了。

早期終了の要因となったのが「市民以外も使えます」と宣伝した、市の公式サイトや家電量販店の広告でした。この事業は、物価高騰対策になったのか。もっと市民のために使えたはずです。